

「アスベスト含有建材の飛散と改築の問題 安全なリフォームとは？」

日時 八月九日(月) 午後六時三十分から九時まで

場所 全国建設労働組合総連合会館(高田馬場・地図は裏面を参照ください)

主催 石綿対策全国連/中皮腫・じん肺・アスベストセンター

共催 二〇〇四年世界アスベスト東京国際会議組織委員会

連絡先 〇三(五六二七)六〇〇七 (中皮腫・じん肺・アスベストセンター)

参加費 無料

「アスベストで危ないのは、吹き付けアスベストでしょ。その他のアスベスト含有建材は、非飛散性で、安心なんですよね？」

もしあなたが、こう思われているとしたら大間違いです。家の屋根に使用されている化粧石綿ボード、外壁のサイディング、ALC、トイレや調理室の天井や軒の天井に使用されているフレキシブルボード、内壁等に使用されているけい酸カルシウム板、岩綿吸音板、多くの建材が新築と改築と解体時に飛散するのです。

現在多くのビルや民家で改築が行われ、今後も急増する予定です。吹き付けアスベストのある建物での改築も急増します。また建材のアスベストは確実に飛散していますが、私達の健康は大丈夫なのでしょうか？ 厚生労働省は今後、改築含めたアスベスト含有建材の対策をうちだす予定ですが、その対策は十分なのでしょうか？ その対策は？ 皆さんの疑問にお答えします。

基調講演 「アスベスト含有建材と改築等のアスベスト濃度と健康影響」

講演者・名取雄司氏(中皮腫・じん肺・アスベストセンター代表)

シンポジウム 「アスベスト含有建材とその危険と対策」

シンポジストの方々

大越慶二氏(環境コンサルタント)

アスベスト含有建材・その1 大規模物件での改築と解体時の対策

高木史雄氏(全建総連東京都連安全対策委員)

アスベスト含有建材・その2 中小規模物件での使用と対策の実情

古谷杉郎氏(石綿対策全国連事務局長)

今後予定されるアスベスト建材対策

外山尚紀氏(東京労働安全衛生センター)

どのような対策が有効か？

コーディネーター・名取雄司氏

連続シンポジウム 第2回会場案内図です。

山手線・高田馬場駅（早稲田口）から徒歩7分

地下鉄東西線・高田馬場駅（早稲田方面出口）から徒歩3分

〒169-8650

東京都新宿区高田馬場2-7-15

電話03-3200-6221



「これからが本番 アスベスト対策」連続シンポジウムのご案内

第3回 「地震とアスベスト」・ 阪神淡路大震災から十年 大震災時の対策は十分か？

8月22日(日) 午後2時～4時30分 東京早稲田国際会議場 3階会議室

阪神大震災で多くのビルが倒壊し、十分な対策のないまま吹き付けアスベストが除去されました。その際のアスベスト吸入で神戸の住民の中皮腫等発生も懸念されます。

東海及び関東での大規模地震が予想される中、地震時のアスベスト飛散防止対策は重要です。

どんな対策が可能なのか？ 住民はどう身を守るのか？ みなさんと考えていきたいと思えます。

第4回 「廃棄物とアスベスト」・ 何が問題か？

9月18日(土) 午後2時～4時 平野亀戸ひまわり診療所 4階会議室

解体工事現場で発生したアスベスト廃棄物は？

解体工事現場で十分なアスベスト建材の分別が行われなければ、中間処理施設や最終処分場ではアスベスト粉じんが野放しに発生していることも考えられます。

今まで触れられることが少なかった、廃棄物とアスベスト問題に迫ります。